

2017年08月18日

## 【コラム⑥】～トルコのチッタスロー「アクヤカ」～

チッタスロー第2弾は、エーゲ海と地中海を結ぶリゾート地「アクヤカ (Akyaka)」。

ムーラ県の内陸部からアクヤカに向かう道中、穏やかで美しい風景に出会うことができます。海拔 671メートルの高さにあるサカルテペを過ぎ松林をカーブしながら山を下ると、眼下にはギョコワ平野の新緑と真っ青なエーゲ海の絶景が広がります。アクヤカでは大自然の美しさを堪能することができ、また独特な様式を持つ建築物も見応えがあります。アクヤカの家々は、木の彫刻が特徴的です。またブーゲンビリアが美しく家々を彩っています。



アクヤカの建築様式は、1970年代に建築家ナイル・チャクルハンが故郷のムーラ県ウラ (Ula) の家をもととし、自身の家を手掛けたことが発端です。コンクリートの代わりに木をふんだんに使用した環境に優しい建築方法を取り入れました。この活動でナイル・チャクルハンが建築界で権威のある賞を受賞しています。

家の中でも自然と調和した生活を感じることができます。街を散策しながら外からでも木の優しいぬくもりを感じることができるでしょう。

また自然の水族館ともいえる清流アズマック (Azmak) 川は、水底まで見渡せる透明度の高い川で、ギョコワ湾に続いています。川中では葦が揺らめき、たくさんの魚が泳いでいます。遊覧ボートもあるので、ボートでゆっくりとした時間を過ごすのもおすすめ。川沿いには京都の川床のようなレストランがいくつかあり、川で泳ぐアヒルや魚などを眺めながら魚料理を堪能するのもアクヤカならではの楽しみ方です。また春には、渡り鳥、コウノトリ、フラミンゴ、ペリカンなどを見に来るバードウォッチング愛好家たちにも人気の場所です。





夏にはエーゲ海リゾート地として、トルコ国内だけではなく、海外からも多くの観光客が訪れます。

アクヤカビーチでは、ウォータースポーツやパラグライダーをすることもでき、アクティブに動きたい方にもおすすめ。細かい美しい砂浜と青い海で過ごした後は、海辺のシーフードレストランでサンセットを眺めながらエーゲ海のおいしいメゼと呼ばれる前菜やお魚料理もお楽しみいただけます。

アクヤカまでのアクセスは飛行機が便利。アクヤカから車で約1時間の場所にダラマン空港があります。イスタンブールからダラマン空港までは約1時間20分なので、イスタンブールから3時間もあればアクヤカに行くことができます。

アクヤカ近郊の観光地として、トルコでも有数のリゾート地のひとつであるマルマリス (Marmaris) があります。アクヤカからマルマリスまでは車で約1時間弱。マルマリスの有名なイチメレル (içmeler) 地区は、ダイビングや水上スキーなどのウォータースポーツに適していて、レストランやホテルで賑わう開けたビーチです。イチメレル隣の入り江であるトゥルンチュ湾は、エーゲ海の最も美しい湾のひとつであり、ブルー・フラッグビーチ (※) にも選ばれています。

マルマリスの地元料理は「スラ・ドルマス (Sura Dolması)」が有名です。ブドウと松の実の入ったピラフを、リブ (肋骨) と肉の間に詰め、オーブンで焼いて作る料理「スラ」は、一般的に犠牲祭となる特別な日に各家庭で作られます。この地方ならではの多様な食文化も観光の楽しみの一つです。

(※ブルー・フラッグビーチとは、国際環境教育基金が「厳しい基準を満たした砂浜、ヨットハーバー、持続可能な船観光事業」に対して贈る認証)

トルコ共和国大使館・文化広報参事官室広報代理店  
株式会社フォーカス